

医師からみた

ペリオシンドローム

定員200名

参加
無料※定員数に達次第、
受付を終了させていただきます。
あらかじめご了承ください。

タバコと肺がん! 飲酒と肝炎! 肥満と糖尿病! “危険な関係”です。

ペリオと心臓病! ペリオと糖尿病! ペリオと誤嚥性肺炎! ペリオと早産! もっと“危険な関係”です。

国民の皆様には、「ペリオ」という言葉は耳慣れないかもしれませんが、「歯周病」と言われればどうでしょう?

そこで今回は、わかりやすくペリオと全身疾患との危険な関係についてお話をします。

「ペリオ」を知り、ころばぬ先の杖を手に入れ、健口長寿を実践しましょう!

日時

2014年
6月14日(土)

開場 13:00 / 講演 13:30 ~ 16:30

途中入場および退場は可能です。

会場

東京国際フォーラム
ホールD7

東京都千代田区丸の内3-5-1

TEL:03-5221-9000

講演者

今井 一彰

河原 英雄

鈴木 宏樹

座長

増田 純一

後援: キュービー株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、ライオン歯科材料株式会社



お申込み

FAXもしくはWEBにてお申込み下さい。(学術大会参加者は、お申込み不要です。)

※一度のお申込につきお一人様となります。複数名での参加をご希望の場合には、それぞれお申込ください。当選された方には、5月下旬に案内状をご郵送いたします。

FAX申込 ▶ FAX: 03-6675-9539

フリガナ			
お名前	ご年齢	性別	男性・女性 (○を付けてください)
ご住所	〒□□□-□□□□		
お電話番号	E-Mail	@	

※ご記入いただきました個人情報は、適切な情報管理を行います。当事務局からご案内を希望されない方は、☒を入れてください。☐ 案内を希望しないWEB申込 ▶ <http://www.ago.ac/32nd/menu/koukaiforum.html>

お問合せ先

日本顎咬合学会学術大会・総会事務局

Tel:03-3265-5640(平日10:00~17:00)

E-mail:gakujutsu@ago.ac

※公開フォーラムの参加登録では、学術大会へのご参加はできません。学術大会に参加ご希望の歯科医療従事者は、学術大会参加受付までお越しください。(学術大会規定に準ずる。)

原因不明の病気は口腔内をうたがえ



講演者 **今井 一彰** みらいクリニック医院長（福岡県）

1995年 3月 山口大学医学部卒業
 1995年 4月 山口大学医学部附属病院救急医学講座
 2001年 1月 山口大学医学部附属病院総合診療部
 2006年11月 みらいクリニック



テレビドラマや推理小説の犯人というのは、思いがけない人物であることが多い。いかにも犯人然とした人でなく、えっあの人が？というどんでん返しで終わる。本当の悪役は、それほど悪そうに見えないところに興味を惹きつけられる。

それは病気にも当てはまる。病気の成因は様々であるが、近年慢性炎症が引き起こしていることが分かってきている。慢性炎症の巣窟となっていて、見落とされがちなのが口腔内の疾病である。なかでも近年ペリオの問題が大きくクローズアップされてきた。ペリオとは歯周病である。

ペリオは、炎症本体は口腔内にあるものの、全身に様々な悪影響をおよぼす。たとえば、糖尿病、高血圧に代表される生活習慣病、骨粗鬆症、習慣性流産など病名は様々だ。まさにペリオ症候群と表現できる。

病巣感染（病巣疾患）という概念は、一世紀年以上も前からあるが、ペリオ症候群を理解するのに役立つ。原病巣（原因となる病変部位）の問題は、たいていの場合症状が無いが軽微である。ところが、全く当該臓器とは関係の無い遠隔臓器に悪影響をおよぼすのである。その遠隔臓器の治療に目を奪われていては、犯人を見のがしてしまう。

医師は、探偵業と同じである。病因は口に隠れていることが多い。全身病の思いがけない犯人、口腔疾患についてその犯行を明らかにしていきたい。またペリオを増悪させる悪習慣、口呼吸についても言及したい。

聴講ポイント

ペリオシンドローム
 口呼吸
 慢性炎症
 病巣疾患

口と健康「高齢者の健康・長寿を支える歯科の役割」



講演者 **河原 英雄** 歯科河原英雄医院（大分県）

1967年 九州歯科大学卒業
 1968年 福岡市にて開業
 2002年 大分県佐伯市に移転、開業
 元日本顎咬合学会会長



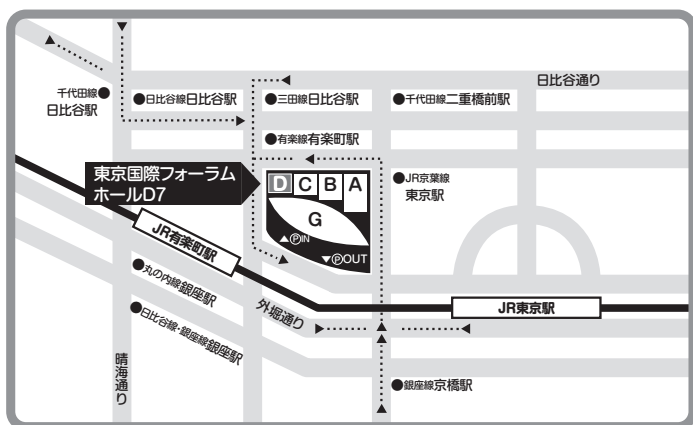
講演者 **鈴木 宏樹**

2001年 福岡歯科大学卒業
 2010年 福岡県 篠栗病院 勤務
 篠栗病院歯科医長

私の開業地は大分県佐伯市です。当地の高齢化率は33%を超えています。この現象は約11年後の大都市の状態だと報じられています。つまり日本中が超高齢社会になってしまうわけです。高齢者の生きる喜びを支えるのは「健康で」「若々しく」「おいしく食べる」そして「楽しく語らうこと」であると言われています。それらを満たすための私たち歯科の果たす役割は大きいものがあります。昨今の厚労省は在宅支援を呼びかけていますが歯科での在宅は必ずしも十分な歯科治療が充たされるとは言えませんが、従ってこれからの歯科は寝たきりになる前の人々つまり健康者に「噛める口づくり」を完了するように呼びかける「ころばぬ先の杖」を持ってもらうことが必須ではないでしょうかと思います。そのことによって「寝たきり予防」「認知症予防」等を喚起することがこれからの歯科の役割ではといった提言をいたします。

聴講ポイント

超高齢社会
 噛む
 ころばぬ先の杖



会場へのアクセス

JR線

有楽町駅より徒歩1分
 東京駅より徒歩5分（京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡）

地下鉄

有楽町線：有楽町駅とB1F地下コンコースにて連絡
 日比谷線：銀座駅／日比谷駅より徒歩5分
 千代田線：二重橋前駅より徒歩5分／日比谷駅より徒歩7分
 丸の内線：銀座駅より徒歩5分
 銀座線：銀座駅／京橋駅より徒歩7分
 三田線：日比谷駅より徒歩5分